



標 小 だ よ り

令和7年1月28日発行 責任者 校長 辻川 智宏
URL <http://town.shibecha.ed.jp/shibecha-e/htdocscha.ed.jp/>

- 標小がめざす子ども像
- 自ら学ぶ子（知）
 - 人のために行動できる子（徳）
 - 自他を尊重する子（徳）
 - 心身の健康安全に向け挑戦する子（体）



随时更新！
標小ホーム
ページへア
クセス

学習（復習）に励み、2学期のよいまとめを

校長 辻川 智宏

今月1日に実施いたしました学習発表会には、多くの保護者の皆様にご来場いただきました。誠にありがとうございました。子供たちの目標に向かってがんばる姿をご覧いただけたと思います。温かく大きな拍手を贈っていただきまして厚く感謝を申し上げます。しかし、悪天候の中での実施となり、大変ご迷惑とご心配をおかけしました。今後は屋内の行事においても、予備日の設定等を計画し、当日実施の判断をします。

さて、2学期も残すところ、1ヶ月弱となりました。17日の朝会の中で、子供たちに、特に学習に力を入れて2学期のよいまとめをしてほしい旨の話をしました。本校では11月と12月は大きい行事の計画がなく、いつもよりも集中ができ、時間をかけて学習活動に取り組むことができます。子供たちには、「学習発表会のがんばりを、勉強にも生かしてください。期待しています！」と語りかけました。休み時間を利用して、理解が不足している内容を質問したり、漢字や計算など反復したりしてほしいと思います。

学習の話を続けます。私は2年前まで中学校教員として勤務しており、中学生に向けて学習（復習）について話をする機会が多くありました。その内容を紹介いたします。中学生向けですが参考になれば幸いです。

定期テストが終わった後に生徒から「勉強したのに、だめだった…。」とよく耳にしたことがあります。その生徒に詳しく話を聞いてみると、すべての範囲を復習したようですが、同じところを繰り返し復習してはいませんでした。みなさんは、範囲を一度しか復習しないでテストを受けてみると、よく覚えてなかつた経験はありませんか？人間は、ものごとを完全に記憶するまでに繰り返し復習することが必要です。このことは、ドイツの心理学者エビングハウスの『忘却曲線』などが有名です。（裏面参照）しかし、全教科の範囲を繰り返し復習することは時間の確保からも非常に難しいと思います。例えば、テスト範囲を「自分の得意な部分と不得意な部分」や「暗記するべき内容と、計算のようにできるようにする内容」に分けてみる。そうすると、時間をかける部分とそうでない部分に分けられて、『効率的な復習』が可能になると思います。

また、くり返すという意味をどのように考えているでしょうか？私は、次の図のように、3つの段階を1サイクルとしてとらえています。

①「わかる」段階

学習内容をノートにまとめたり、例題を解いたりして、自分の理解度をチェックする。先生や友達に質問して、内容を理解する。

②「できる」段階

問題を解いて理解の度合いを確かめる。まちがえたところやできなかつたところはなぜそうなるのかを納得する。

③「身につける」段階

さらに問題演習などをを行う。できると思っても油断せずに確実に自分のものになるまで行う。

おわりに、保護者の皆様には、お子様の2学期のまとめに向けた活動が充実したものになるよう、今後もご支援をお願いいたします。



日	曜	12月行事予定	バス時刻	
			1便	2便
1	月	交通安全街頭指導	14:50	16:00
2	火	特別日課 標茶町学力テスト1日目	14:50	
3	水	特別日課 標茶町学力テスト2日目	14:50	
4	木	図書館バス	14:50	16:00
5	金	お話し会(6年) ハッピータイム 児童委員会	14:50	16:00
6	土			
7	日			
8	月		14:50	16:00
9	火	特別日課	14:50	
10	水	特別日課	14:50	
11	木		13:30	16:00
12	金	標茶小学校公開研究会	13:30	14:50
13	土			
14	日			
15	月	大掃除週間 (~24日)	14:50	16:00
16	火	特別日課	14:50	
17	水	特別日課 標茶中学校体験入学(6年生)	14:50	
18	木	図書館バス	14:50	16:00
19	金	お話し会(1年)	14:50	16:00
20	土			
21	日			
22	月	5時間授業	14:50	
23	火	特別日課	14:50	
24	水	5時間授業 2学期終業式	14:50	
25	木	冬季休業日 (~1/14)		
26	金			
27	土			
28	日			
29	月	学校閉庁日 (~1/3)		
30	火			
31	水			

※予定に変更があるときは、学級だより・安心メール等でお知らせします。

※12/29(月)～1/3(土)は学校閉庁日となります。急ぎの連絡は標茶町教育委員会(役場485-2111)へ

学習の成果を十分に発揮してがんばりました！(11月1日 学習発表会)

11月1日に開催した学習発表会に際しましては、ご来賓、ご家族の皆様をはじめ、たくさんの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

子供たちは、これまでの学習の成果を存分に発揮して、歌・器楽・ダンス・劇・国語や算数の発表などを行うことができました。大勢の観客を前にしても臆することなく、堂々と発表する子供たちの姿をご覧いただくことができました。また、どの学年も児童公開日の発表をもとに改善したり、さらによくなる工夫を加えたりして、より一層レベルアップした発表を行うことができました。



1年生〈けんかした山〉



2年生〈標小ハイランドヘレツゴー！〉



3年生〈にん者でパワー！〉



4年生〈Step up☆未来への一歩〉



5年生〈音でひとつに 韶けハーモニー〉



6年生〈シバロク歴史劇～過去・現在・そして未来～〉

標茶町少年の主張大会（11月15日）

標茶町少年の主張小学生の部は、総合的な学習の時間や国語等で学習した内容をもとに、相手意識をもって自分の考えを発表するものです。今年度は、6年生の2人が、国語「十二歳の主張」の学習で調べたことや考えたことを発表してくれました。「より良い未来になるために」と題し、近年全国的な問題となっている熊による被害や生活への影響、その対策や人間との共生などに関する意見を、堂々とした態度で発表してくれました。



馬と触れ合う体験学習（6年生 11月10日）

標茶町ふるさと教育推進事業の一環として、6年生が「馬とふれあう体験学習」を行いました。直接馬とふれあい、馬が持つ魅力を体験するとともに、馬文化や歴史について詳しく知ることができました。ご協力いただきましたハートランチの皆様、ありがとうございました。



【表面の巻頭言の補足】

「エビングハウスの忘却曲線」

ドイツの心理学者エ

ビングハウスによると、記憶は20分後におよそ42%を忘れ、1時間後でおよそ56%、9時間後でおよそ64%を忘れ、その後少しゆるやかになり6日後にはおよそ76%を忘れてしまうそうです。完璧に覚えたつもりでも、その後復習をしなければ6日後には24%しか残っていないということになります。

忘却率

時間

しかし、学習し覚えたことを、忘れる前に繰り返し反復することで、忘れる確率は大幅に低くなることも証明されています。

標茶高校体験（5年生 11月6日）

標茶町では、子供たちの12年間の成長を一体的に支えるため、標茶高校との連携を進めています。



今回、地域に対する理解を一層深めることや、自分の未来について考える「キャリア教育」の充実を図ることを目的として、標茶高校体験を5年生が行いました。標茶高校の教頭先生が説明をしてくださいり、高校3年生が高校生活の様子や頑張っていること、将来について考えていることなどをプレゼンテーションしてくれました。標茶高校の皆様、ありがとうございました。

体力テストII

本校では体力テストを年2回行うことで、前回（6月）と比較し、自分の成長をより深く知ることができますようにしています。体力テストの実施にあたり、ご協力をいただきました標茶町スポーツ推進委員の皆様、ありがとうございました。